

卒業証書授与式

平成29年3月1日

霞立つ春の3月1日(水), 全日制普通科第69回卒業証書授与式を挙行了しました。

横島義昭校長 式辞

「思うは招く。自分たちでロケットを作った町工場の植松 努氏の言葉。夢があれば実現できる。ぜひ高い志をもち続けてほしい。そしてつらい時こそATG(明るく楽しく元気よく)の精神で乗り越えてほしい。」



PTA会長 飯田靖宏様

「SGHの活動や部活などを通して、豊かな発想力や実行力を身につけたはず。感謝の気持ちを忘れず、自信をもって新たなステージで活躍してほしい。」



同窓会長 幡谷浩史様

「親友は一生の宝と入学式でも述べ、その通り多くの友人を作ったことと思う。その友人たちと別れなくてはいけない今はつらい時だと思う。これから先の生活も大変なことの連続だと思うが、信頼できる友人とのつながりを大切にして、自分の夢を追い求めてほしい。」



学年主任 須藤一道教諭

「社会が変わっても変わらないもの、それは学問。学問を身につけた皆さんは、自分で考え、判断し、行動していける。」

卒業生答辞 太田親伯君

「一生の友を作れとの幡谷会長の入学式での言葉の重みが今、ひしひしと感じられる。SGHでは世界に通じる方法論を学んだ。部活では礼儀や向上心を学んだ。支えてくれた親や友人、先生方に感謝したい。」



在校生代表送辞 下川諒也君

「一高祭など、どの行事もクオリティが高く、常に感謝し尊敬していた。先輩の築いた伝統をもとに、120周年を迎える一高をさらに発展させていきたいので見守っていてほしい。」